

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第86号（通巻第153号）

2010年3月19日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 第76 回国立大学教育実践研究関連センター協議会のご報告

2月19日（金）、東京学芸大学において、第76回国立大学教育実践研究関連センター協議会が開かれました。本センターからは、谷口明子教授が総会に参加いたしました。総会の全体は、議事・報告（1 議事録確認 2 各部門報告：臨床教育部門：SCS「教育臨床」実施報告書及び『DVDで見る教育相談の実際』の紹介、平成21年度会計中間報告、平成21年度事業報告、学校ICT関係の予算の今後の見通しについて、新潟大学教育学部附属教育実践総合センターの廃止に伴う本協議会脱退のお知らせ）の後、発表・意見交換として「発達障害のある大学生への相談と支援について」東京学芸大学・信州大学より事例報告があり、意見交換の後、閉会という流れでした。センター協議会の課題として、会員資格をはじめ今後の在り方について再考する必要性が挙げられました。

■ 第4回「教育相談室連絡協議会」のご報告（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

第4回教育相談室連絡協議会を3月2日に開き、21年度の事業についての総括を行いました。附属4校園の教育相談担当者、学部スクールカウンセラーチーム2名、非常勤相談員の計7名が出席しました。附属関連の教育相談が増加している現状を再確認し、附属中教育相談担当・担任・養護教諭との連携のもと行われたケースへの対応の報告から、協力体制の在り方について協議が行われました。定期的な情報交換を行うことの重要性が再確認され、次年度も緊密な連携のもと相談活動を進めていく方針を共有しました。

■ 共同利用施設・設備 授業研究演習室 (J422) 整備のご報告

教育実践総合センターには、学部や大学院等の授業をはじめとする教育目的や、個人研究、共同研究を問わず研究目的のために利用できる施設・設備があります。授業研究演習室(J422)には30人程度までの授業研究や教材開発、グループ学習、演習、ビデオ編集実習等を行うことができる機器等が整備されていますが、これまでは学生用のPCが6台しかなかったため、関係の方々のご理解・ご協力のおかげで、今年度末に学生の実習用PC(Windows7)を6台増設することができました。これで学生用PCは計12台となり、同時に学内LANへの接続も高速化したので、より快適に利用いただけるものと思います。

● 主なハードウェア

- ・ Windows Vista 7台
- ・ Windows7 6台
- ・ ビデオカセットレコーダー (DV・ミニDV・VHS・Hi8)
- ・ DVDレコーダー
- ・ 書画カメラ
- ・ 液晶プロジェクター

● PCにインストールされている主なソフトウェア

- ・ Adobe Premiere Pro 2.0
- ・ Adobe Premiere Elements 8
- ・ Adobe Photoshop Elements 5.0
- ・ Adobe Photoshop Elements 8
- ・ Microsoft Office Professional 2007
- ・ 語学学習ソフトウェア

利用にあたっては、事前に教育実践総合センター事務室で申請をお願いします。新年度の授業で利用される先生は、新規・継続に関わらず、また、定期的な利用でも、1回だけの利用についても、トラブルを避けるため、利用申請をお願いいたします。

授業研究演習室 (J422)をはじめ、多目的教室 (J514)、マルチメディア教材作成室 (J324)等実践センターの共同利用施設・設備に入室するには、カードを使います。お手持ちの教職員の身分証明書カードで入室できる設定にしていますが、システムの運用上そのままでは入室できない方もいらっしゃいます。そのような方

には YINS カード（入室カード）を新たに発行しますので、教育実践総合センター事務室までお問い合わせください。

○問い合わせ：教育実践総合センター事務室（J424）

内線：8325

メール：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp

■ 第4回・5回連携・教育研究会のご報告

<第4回>

例年県教育センターで行われる研究発表大会に、連携・教育研究会が相乗りする形で、2月24日（火）、第4回連携・教育研究会が開催されました。参加者約400名。大学側からは、来賓、指導・助言者として、障害児教育講座の鳥海順子教授、英語教育講座の田中武夫准教授、実践センターの石川啓二教授、雨宮亘客員教授、瀧田二三雄客員教授、谷口明子教授、成田雅博准教授、角田修の8名が参加いたしました。全体の流れは、開会式からスタートし、記念講演、全体基調提案、各グループの提案・協議と進められました。全体の研究テーマ「生きる力をはぐくむ実践的な研究」とし、言語活動、道德教育、伝統と文化に関する教育、情報モラル教育、不登校問題、特別な教育支援、小学校英語活動等多岐にわたって発表がなされました。いずれの発表も現在の教育課題の解決に迫るすばらしいものでした。大変勉強になりました。

<第5回>

3月9日（火）、県総合教育センターにおいて、第5回連携・教育研究会を開催しました。大学側からは、石川センター長、谷口教授、雨宮・瀧田客員教授、成田准教授と角田が参加しました。研究会では、「連携・教育研究会のまとめと来年度の計画案について」、「研究発表大会のまとめと主事研究について」、「学校制度・経営論について」等の協議がなされました。研究内容については、大学側から総合教育センターに対しては、主事研究の支援がなされ研究が深められたことや、一方で、教育センターからは、新設科目「学校制度・経営論」9名の先生方に御協力をいただき講義内容がすばらしいものであったとの意見がだされました。また、今年度の成果と課題を踏まえる中、平成22年度の計画案についても協議がなされ、この研究会を通じてその成果を実践センターと教育センター双方に還元できるよう取り組んでいくことが確認されました。

■ 第22回教育フォーラムのご報告「これからの食育－学校、家庭、地域の連携」

山梨大学教育人間科学部主催、第22回教育フォーラムが2月13日（土）J号

館A会議室において開催されました。学校の先生方や大学生を中心に40人が参加し、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる」食育をテーマに協議がなされました。今回のフォーラムでは、家庭・学校・地域の連携のなかで、今後の教育のあり方を展望するものとしての食育について、本学家政教育講座 常秋美作教授が総合司会を務められ、パネリストとして筑波大学大学院人間総合科学研究科 野津有司 教授、山梨県教育庁 スポーツ健康課 秋山知子指導主事、市川三郷町立市川小学校 半田裕子栄養教諭がそれぞれのお立場から貴重な御提案を頂きました。改めて食教育の重要性を参加者とともに共有することができ有意義な会となりました。



■ 第5回交流人事教員交流会のご報告

2月27日（土）、京都教育大学において、第5回交流人事教員交流会（報告会）が開かれました。この会は、教員養成系大学・学部 に在籍する交流人事教員等が一堂に会し、教員養成、教員研修、学外連携等の諸業務に関する研修、情報交換等を行うことを通して、自らの資質向上と教育活動等の充実を図ろうとするものです。本センターからは、教育実践研究部門担当の角田が参加しました。活動報告・研究

協議は、「『力量のある資質の高い教員』養成をめざして」、「特別支援教育における授業力の向上を図る取組」、「静岡大学大学院教育学研究科実践高度化専攻（教職大学院）の取組と今後の展望」、「交流人事を大学の活性化にどう生かすか」の提案を基に、協議が進められました。この会に参加させていただいて、再度、このネットワークを活用する必要性や、交流人事教員の果たすべき役割が益々大きくなっていると感じました。



・
|